



復興への道

平成18年7月鹿児島県北部豪雨災害から2年。被災当時、全国各地から駆け付けた多くのボランティアの方々や大規模災害時に備え連携を結んだ建設業協会の皆さんが、家財の搬出や清掃などの復旧作業に力を貸してくださいました。また、多くの方から義援金を頂きました。私たちは、当時の記憶と多方面から支援して下さった多くの方々への感謝の気持ちを決して忘れてはなりません。今もなお、復興の途中ですが、被災された多くの方々は、当時の記憶とともに、希望を持って、復興への道を歩んでいます。

この場所で元気に明るく暮らすことが恩返しです



メガネの21(虎居) 小野原 竹志 さん

被災当時、失望感や絶望感はなく、まるで映画のワンシーンをしている夢の中にいるような感じでした。次の日、遠くから友人や知人、そして、建設業協会の方々や町内外、全国各地から多くのボランティアの方々へ復旧作業に駆け付けてくださいました。あの時、片づけ

すら思わない気持ちを押されました。皆さんが駆け付けてくれたらと思うと不安です。を振り返ると、人のりがたさや力強さを改めて感じます。多くの人に元気をもらいましたので、私たちがこの場所、希望を持って元気で明るく暮らしていくところが本当の恩返しではないかと思



関係機関の迅速な対応がうれしく、ありがとうございました



ハウスキンカン栽培(二渡) 久留 俊郎 さん

被災直後は、果実や葉などが泥にまみれ、洗い流す作業に追われていました。そうした中、町や農協、普及センターなどの関係職員が駆け付けて、樹木を応急的に保護するために、樹木を覆った周りの土砂を取り除く作業を手伝ってくださいました。そのおかげで、その年も収

は落ちましたが、収ることができました。の関係機関の迅速なうれしく、ありがとうございました。は今もまだ回復の途が、あの時、応援に駆け付けてくださった関係機関や多くの方々に感謝しながら、おいしいキンカンを作っていきたいと思



ボランティアの方々に改めてお礼が言いたいです

水害当時
ゴミで溢れ
が乾燥せず
ているうち
ら温泉場で
水を洗い流
かりました
小路下手



くの方が、風呂がない生活が続きましたので、浴槽が使えるようになったらすぐ

水害から2年が経ちますが、一番心配なときに復旧作業を手伝いに来てくださったボランティアの方々のご恩を忘れたことはありません。会って改めてお礼を言いたい気持ちです。



かしはら温泉(柏原) 綾園 光郎 さん